

No.15	事業名	環境経済型企業集積推進事業 (環境経済型商品の開発補助)	補正 予算額	5,000 千円
-------	-----	---------------------------------	-----------	----------

1 事業目的、趣旨等

環境経済に関する豊岡の課題を解決する取り組みへの支援体制を充実し、環境と経済が共鳴するまちづくりに資する。

2 事業概要

(1) 内 容

環境経済事業推進費補助金（課題解決提案型事業）の新設

既設の先駆的事业、未活用資源活用事業、産学連携事業に加え、環境経済に関する豊岡の課題を解決する事業を行う事業者・団体を支援する。

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

豊岡市（補助事業の実施は事業者）

(4) 今後のスケジュール

補助金の公募開始 平成21年6月下旬（予定）

(5) 全体事業費

補助金 5,000千円

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

環境経済に関する課題とその解決方法を提案してもらい、審査により補助金交付の可否を決定する。

No.16 事業名 生物多様性保全拠点の整備	補正 予算額	12,900 千円
------------------------	-----------	-----------

1 事業目的、趣旨等

生物多様性保全の取組み充実を図るため、各拠点の基盤強化に取り組む。

2 事業概要

(1) 内 容

下記エリアで、機能充実のための基盤整備を行う。

- ①コウノトリの郷公園エリアの整備
- ②ハチゴロウの戸島湿地エリアの整備
- ③加陽大規模湿地エリアの整備

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

年度内早期の事業完了を目途に進める。

(5) 全体事業費

12,900千円

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

- (1) コウノトリの郷公園エリア 11,000千円
(コウノトリ文化館整備、シアタールームビデオコンテンツ追加)
- (2) ハチゴロウの戸島湿地エリア 900千円
(施設案内標識等整備、湿地管理勉強会の開催)
- (3) 加陽大規模湿地エリア 1,000千円
(地域づくり計画の策定)

No.17	事業名 地域情報化推進事業 (移動通信用鉄塔施設の整備)	補正 予算額	91,275 千円
-------	------------------------------------	-----------	-----------

1 事業目的、趣旨等

市では市域内の地理的、人口的な要件に起因する情報環境の格差是正を図り、すべての市民が等しくICT（情報通信技術）の利便性を享受できる情報通信基盤の整備を促進するためのさまざまな施策を実施している。

その中で、市民生活の利便性の向上、地域の活性化に資するため、また、防災面においても携帯電話の果たす役割は極めて大きなものとなっているため、携帯電話事業者の参画同意が得られた携帯電話不通地区について、携帯電話基地局を整備し携帯電話事業者に利用させることで、集落のほとんどで何れの携帯電話サービスも利用できない携帯電話不通地区の解消を図る。

2 事業概要

(1) 内 容

暮坂地区〔出石地域〕、西谷地区〔但東地域〕については携帯電話不通地域となっており、何れの通信事業者単独による移動通信サービスの提供が見込めないため、当該地区に移動通信用鉄塔施設を整備し、通信事業者に利用させることにより、当該地域周辺の移動通信環境を整備する。

暮坂地区〔出石地域〕についてはKDD I株式会社（au）と株式会社NTTドコモの携帯電話エリアを、西谷地区〔但東地域〕についてはKDD I株式会社（au）の携帯電話エリアをそれぞれ整備する。

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

平成21年 8月 補助金交付申請

11月 工事着工

平成22年 3月 工事完了

(5) 全体事業費（補助率・負担率等）

全体事業費 91,275千円

携帯電話等エリア整備事業 国庫補助金 2/3、県補助金 2/15、事業者負担 1/90、起債(暮坂地区:合併特例債)(西谷地区:過疎債)、他

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

平成18年度から平成20年度までに、既に5地区において携帯電話基地局の整備を行っており、今年度においても既に1地区の携帯電話基地局整備を実施中である。

今回の整備により、7地区に不感地区が減少する。

No.18 事業名 市道大規模補修事業	補正 予算額	216,000 千円
---------------------	-----------	------------

1 事業目的、趣旨等

地域間を結ぶ幹線市道は、大型車の交通量増加に伴い、老朽化が進み、舗装のひび割れ等の損傷が著しくなる。このため快適な走行性の確保と事故防止のため大規模な舗装修繕を行い、安全で安心なまちづくりを進める。

2 事業概要

(1) 内 容

- ・市道池上日吉線（豊岡市日高町池上～土居） L=1,650m
- ・市道加陽南線（豊岡市加陽） L=700m
- ・市道神美五条線（豊岡市上鉢山） L=500m

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

C = 216,000 千円

補助率 50%

No.19-1	事業名	情報発信戦略の推進 (東京エキジビションの開催等)	補正 予算額	5,762 千円
---------	-----	--	-----------	----------

1 事業目的、趣旨等

豊岡には、コウノトリも住める豊かな自然や環境づくりをはじめとし、環境と経済が共鳴するまちづくりなど、世界に誇る取り組みがある。加えて、歴史、伝統、文化に培われた多くの資源がある。人口減少が進み、市内経済が低迷する中で、住む人たちが誇りを持ち、地域経済や地域社会の活性化を図るために、国内外に豊岡の情報を戦略的に発信する。

また、具体的な取組みを通じて、情報発信モデルを確立させ、職員の意識の向上を図るとともに、特に首都圏での豊岡の知名度を向上させる。

2 事業概要

(1) 内 容

① (仮称)豊岡エキジビションの開催

コウノトリ野生復帰の取組みや関連する特徴的な施策、特産品等を紹介するイベントを東京で開催する。

② 情報発信ルートの開拓

国内最大のマーケットであり、多くの情報の発信拠点である東京に対する情報発信ルートを開拓する。

③ 市場と現場の橋渡し

市場のニーズを把握し、原課を通じ地域に情報提供する。

④ 豊岡モデルの発信

コウノトリの野生復帰をシンボルとした豊岡の様々な分野の取組みを、物語性をもって発信する。

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

① 11月10日 (仮称)豊岡エキジビションを東京六本木で開催

② 6月～ 情報発信ルートの開拓

③ 6月下旬 情報発信プロジェクトチームを庁内に設置

(5) 全体事業費

5,762千円

No.19-2	事業名	情報発信戦略の推進 (コウノトリ育む食の情報発信)	補正 予算額	2,480 千円
---------	-----	--	-----------	----------

1 事業目的、趣旨等

豊岡市の情報発信における重要な要素となる「コウノトリ」に関し、発信のためのアイテムの充実を図る。

2 事業概要

(1) 内 容

「コウノトリ育む食」をテーマにした発信

コウノトリ野生復帰の取組みの中で育まれてきた豊岡の「食」をテーマに、ワークショップを通じた食材テキストや独自メニューの開発、国内外への発信をアドバイザーに委託するとともに、発信ツールの充実に取り組む。

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

平成21年秋に予定されている情報発信イベントに向けて速やかな事業実施を行う。

(5) 全体事業費

2,480千円

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

- ・「コウノトリ育む食」情報発信業務委託料 2,000 千円
- ・「コウノトリ育む食」のテキスト作成 300 千円
- ・事務費（職員旅費等） 180 千円

No.20-1	事業名	経済成長戦略の推進(就職フェア &企業紹介フェアの開催)	補正 予算額	455 千円
---------	-----	---------------------------------	-----------	--------

1 事業目的、趣旨等

平成20年度に実施した「企業ヒアリング」、「企業アンケート」及び「高校生等の進路等の意識調査」において、求人と求職の希望がうまく折り合わず、学生の市外流出が顕著となっている。このため、地元の若年労働者を確保し、産業の活性化に資することを目的に「就職フェア&企業紹介フェア」を開催する。

2 事業概要

(1) 内 容

- ①Uターン就職希望者、来春大学・短大等卒業予定者、概ね35歳までの若年者を対象とした面接相談会を実施。
- ②再来春大学・短大等卒業予定者を対象にした企業紹介を実施。
- ③面接の受け方、心得のコツを伝授する就職相談を実施。

(2) 事業期間

1日間

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

今後、参加事業所等の意向や学生らの参加しやすい期日に配慮し、事業時期を決定するため、現時点では未定。

(5) 全体事業費

455千円

3 その他参考事項(事業内容の詳細等)

- ・関係機関と連携して、事業所への参加呼びかけを行う。
- ・高校と連携して、高校生及び大学生へ周知を図る。

No.20-2	事業名	経済成長戦略の推進(企業ガイドブックの作成)	補正 予算額	4,135 千円
---------	-----	------------------------	-----------	----------

1 事業目的、趣旨等

平成20年度に実施した「高校生等の進路等の意識調査」において、6割強の学生が「豊岡市では就職先がない(見つからない)」、「豊岡市は不便」といった理由により、他地域での就職・移住を希望している実態である。このため、豊岡市市内にも他社と差別化を図った特有の製品を製造する企業や世界を市場に頑張っている企業など様々な中小企業が存在することを周知し、市内外の若年労働者を確保することを目的に「企業ガイドブック」を作成する。

なお、I・Jターン促進のため、本市の紹介ページも作成し、本市の魅力も効果的に伝える。

2 事業概要

(1) 内容

市内企業情報を満載した企業ガイドブックを作成する。

【仕様、部数】A4判、200ページ(予定)、オールカラー、5,000部

【掲載企業数】100社(2ページに1社掲載)(予定)

【対象者】

- ・来春卒業予定者のある市内高校、但馬技大
- ・市外大学等(豊岡市出身者が入学している大学等)
- ・市内掲載企業 等

(2) 事業期間(予定)

平成21年9月～平成22年1月

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

- ・市内事業所への周知・募集 平成21年 9月
- ・プロポーザルによる業者選定 平成21年10月
- ・市内高校、市外大学等への配布 平成22年 1月

(5) 全体事業費

4,135千円

No.21	事業名	定住推進事業 (豊岡暮らし体験の確保)	補正 予算額	2,131 千円
-------	-----	------------------------	-----------	----------

1 事業目的、趣旨等

地域が持つ魅力や特性を発信し定住者を増やすための施策メニューの1つとして、市内にある空き家を田舎暮らし疑似体験のできるお試し施設として確保する。

田舎暮らし疑似体験を進めることで豊岡市への移住を促進させる。

2 事業概要

(1) 内 容

豊岡暮らし体験住宅の確保

田舎暮らし疑似体験のできる宿泊施設として空き家を借上げ、移住希望者や田舎暮らし希望者へ貸し出し、一定期間（1ヶ月以内）体験滞在してもらう。

滞在中は定住に係る情報の収集や疑問点の確認などを行ってもらうとともに豊岡市の良さを感じてもらう。

(2) 事業期間

平成21年度から約3年間を予定

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

平成21年度 空き家の確保、改修、貸し出し開始

(5) 全体事業費

豊岡暮らし体験住宅の確保 2,131千円

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

確保する空き家 1軒

使用者負担 2,000円/日

No.22-1	事業名	商工業の振興 (中小企業雇用・経済状況調査)	補正 予算額	3,000 千円
---------	-----	---------------------------	-----------	----------

1 事業目的、趣旨等

市内中小企業の情報等を系統的なデータとして把握したものがなく、経済状況の悪化時等に中小企業情報の把握と管理、分析までを市や商工会等が一体的に共有する体制整備は急務である。そのため、豊岡市内の中小企業の状況を正確に把握し、今後の経済対策、中小企業施策等に活用するため、ITを活用した情報共有体制を構築する。

2 事業概要

(1) 内 容

5町商工会合併を視野に入れ、当面、傘下の会員(1,900社)のデータを統一的に登録し、運用するシステム(社名、住所、資本金、従業員数、年商、売り上げの変化、主な仕入先、主な出荷先等)を整備し、管理するとともに、各社のアドレスを登録し情報提供、情報収集等を行えるようする。こうすることで企業動向等のアンケートなどをデータで双方向にやり取りでき、経済状況の把握を迅速かつ容易にする。さらに、登録企業を商工会議所や広く会員でない企業にまで広げていく。

(2) 事業期間

平成21年度～

(3) 事業主体

商工会(5町)

(4) 今後のスケジュール

内 容	時 期
(1) 豊岡市経済状況調査委員会編成 (豊岡市経済部・5町商工会)	平成21年6月
(2) 業務情報の整備 (既存情報の整理統合、新商工会の事業計画等)	平成21年7月～12月
(3) 情報共有化のためのシステム構築 (設備面・運用面)	平成21年7月～9月
(4) 企業登録作業	平成21年8月～10月

(5) 全体事業費

8,000千円(うち市補助金3,000千円、自己資金5,000千円)

No.22-2	事業名	商工業の振興 (中核工業団地企業PR事業)	補正 予算額	1,000 千円
---------	-----	--	-----------	----------

1 事業目的、趣旨等

中核工業団地は、現在20の企業が操業している。それぞれの企業は、優れた技術を有しており、年間を通して多くの工場見学者がある。(約4,000人/年)

将来的には、市内の中学生等の企業見学会を計画し、企業の優れた技術や製品に直接触れてもらい、市内企業への就労や若者定住促進に努めたいと考えている。

そのため、同施設に既存企業の優れた技術と製品を展示し、訪れる見学者が見学しきれない企業の技術等も見聞できるような場所とするとともに、工場側の対応しきれない見学者などの受け入れを可能としたい。

2 事業概要

(1) 内 容

豊岡市に立地されている企業を市内外に広くPRするため展示場及びブースを設置する。今回、先行して中核工業団地に、立地している企業紹介ブースを設置する。

(2) 事業期間

平成21年度～

(3) 全体事業費

1,000千円

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

維持管理については、中核工業団地企業協議会事務局が行う予定である。

No.23-1 事業名 城崎温泉「柳のライトアップ」	補正 予算額	35,000 千円
----------------------------	-----------	-----------

1 事業目的、趣旨等

城崎温泉は7つの外湯とともに、城崎温泉街の中央を流れる大谿川に添って形成される「柳並木」「太鼓橋」さらに「連続する木造建築」など魅力ある景観でお越しになるお客様をお出迎えしている。この大谿川沿いの町並みを夜間にライトアップすることにより幻想的な風情を醸し出す。

城崎温泉街の王橋からJR踏切までの大谿川沿いのパラペットには既存街路灯が20基設置されているが、今回、新たに大谿川沿いの柳をライトアップすることによりさらに風情を演出し、夜のそぞろ歩きに光のおもてなしで楽しい城崎温泉街を創出する。

全体事業費は4,000万円で、事業主体の城崎町商工会へ3,500万円を補助する。

2 事業概要

(1) 内 容

城崎温泉街大谿川沿い L=350m<王橋（一の湯橋）～JR踏切>
両岸のパラペット上にライトアップ器具60基を設置予定。

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

城崎町商工会

(4) 今後のスケジュール

事業主体と調整を図り事業実施する。

(5) 全体事業費

40,000千円

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

以前から取り組んでいる夜の温泉街の更なる魅力発信として柳のライトアップで他の温泉街との差別化を図り、減少する観光客を呼び戻しかつ新規顧客の獲得を目指す。

No.23-2 事業名 「元気アップ」大作戦	補正 予算額	15,300 千円
------------------------	-----------	-----------

1 事業目的、趣旨等

新型インフルエンザの風評被害解消のため、市内の観光地の活力ある様子を大きくアピールし、新型インフルエンザに対する過度の警戒心を緩和する。

また、市内各所でイベントを実施することで旅行者の来訪意欲を刺激し、集客の増大に結びつけ、地域経済の活性化を推進する。

2 事業概要（主なもの）

(1) 内 容

- ① 豊岡港地区「地引網体験」：夏休み中に3回、地引網を実施（900千円）
- ② 城崎温泉「夢花火」の開催日拡大：火・木曜日→月～金曜日（6,700千円）
- ③ 竹野光の広場ウェルカムフェスタ：北前館の改装オープン、コンサート、バザール（1,400千円）
- ④ 神鍋高原キャベツまつり：ホテル観察会、キャベツクイズ、「きゃべつ君」とじゃんけん大会、キャベツカレー・キャベツコロッケ販売ほか（1,800千円）
- ⑤ 神鍋大収穫祭：星空観察会、郷土料理「けんちゃ」の振る舞い、神鍋コシヒカリ新米おにぎり試食ほか（2,000千円）
- ⑥ 出石「そば祭」：出石皿そばを300円で提供。売り上げはインフルエンザワクチン製造のための基金に寄付。（1,000千円）
- ⑦ たんとうシルク野菜まつり：ジャグリングショー、たんとうシルク野菜の試食（1,500千円）

(2) 事業期間

- ① 7月31日（金）、8月7日（金）、21日（金）
- ② 7月20日（月）～8月27日（木）の盆を除く平日
- ③ 7月18日（土）
- ④ 6月27日（土）、28日（日）
- ⑤ 9月19日（土）～22日（火・休）
- ⑥ 6月27日（土）、28日（日）
- ⑦ 8月2日（日）

(3) 事業主体

- ①豊岡観光協会 ②城崎温泉観光協会 ③たけの観光協会 ④神鍋観光協会
⑥出石皿そば協同組合 ⑦但東シルクロード観光協会

(4) 今後のスケジュール

早急に事業広報を開始する。

No.23-3 事業名 「名探偵コナン」とくとく小判	補正 予算額	10,500 千円
----------------------------	-----------	-----------

1 事業目的、趣旨等

新型インフルエンザの風評被害により、4月29日にスタートした「名探偵コナン城崎温泉・出石ミステリーツアー」の販売が鈍化してきていることから、ツアー参加者を対象に、1,000円分の商品券「城崎・出石小判」をプレゼントし、お得感を与えることで今後のツアー参加者の拡大と、これによる地域経済の活性化を図る。

2 事業概要

(1) 内 容

城崎温泉街の旅館や商店などをはじめ、城崎マリンワールド、コウノトリ本舗、出石町内の皿そば店や商店などで、1,000円分の金券として使用できる「城崎・出石小判」を1万枚作成し、名探偵コナン城崎温泉・出石ミステリーツアー参加者を対象として、先着1万名にツアーキット引換え時に進呈する。

(2) 事業期間

平成21年7月1日～平成21年11月3日

(3) 事業主体

但馬豊岡観光協議会

(4) 今後のスケジュール

6月末 小判作成

7月1日～ プレゼント開始

(5) 全体事業費

10,500千円

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

JRと連携したPRにより広く周知を図る。

No.23-4 事業名 城崎温泉送迎バスラッピング	補正 予算額	1,100 千円
---------------------------	-----------	----------

1 事業目的、趣旨等

新型インフルエンザの発生により深刻な影響を受けた城崎温泉の活性化を図るため、城崎温泉送迎バスを城崎温泉に相応しいデザインでラッピングし、観光地としての魅力をアピールする。

2 事業概要

(1) 内 容

宿泊客をJR城崎温泉駅から各旅館へ送るバスの車体に城崎温泉のイメージを施すことにより、動く広告塔としてPRを図るため送迎バスを所有する城崎温泉旅館協同組合に対して事業に要する経費を補助する。

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

城崎温泉旅館協同組合

(4) 今後のスケジュール

平成21年7月施工

(5) 全体事業費（補助率・負担率等）

1,100千円（10/10）

No.24 事業名 鳥獣被害防止緊急対策	補正 予算額	26,550 千円
----------------------	-----------	-----------

1 事業目的、趣旨等

野生動物による農作物被害対策として、鳥獣害防護柵の設置等を推進しているが、依然として農業被害が発生し、農業者にとって深刻な影響を与えている。このため、鳥獣被害防止特別措置法による国の財政支援を受け、野生動物防護柵の設置に取り組んでいる。今回、国の経済危機対策に伴う補正により、平成22年度に予定していた事業を前倒しし、早期対応によって被害の軽減と拡大防止に努める。

2 事業概要

(1) 内容

耐用年数が長く、被害防止効果の高い防護柵（金網柵、電気柵）を設置し、総合的かつ効果的な対策を進める。

防護柵（金網柵）：3地区 L=8,500m（H=2.2m）

防護柵（電気柵）：1地区 L=2,000m

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

豊岡市野生動物被害対策推進協議会

(4) 今後のスケジュール

7月：豊岡市野生動物被害対策推進協議会による入札予定

8月：防護柵設置工事の着手予定

11月：防護柵設置工事の完了予定

12月：事業完了予定

(5) 全体事業費

26,550千円

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

20年度2月補正（繰越）の生活対策野生動物防護柵緊急設置事業（県補助事業）及び21年度当初予算に計上した国の鳥獣被害防止緊急対策事業と併せて事業を推進する。これらの事業について、地元負担率は25%である。

平成20年度2月補正 44,244千円

平成21年度当初予算 30,713千円

平成21年度今回補正 26,550千円

計 101,507千円

No.25	事業名	道の駅「神鍋高原」の整備 (売上管理システムの導入)	補正 予算額	4,000 千円
-------	-----	-------------------------------	-----------	----------

1 事業目的、趣旨等

売上管理システムを導入し、売店での商品の販売管理及び農産物の販売管理を行う。道の駅の改修に伴い、売店面積が広がることにより、量、種類が増加する中で、システムを導入することで取扱商品、農産物の的確な管理を行うことができ、戦略的な事業展開を行うことができる。

特に、改修に合わせて新設する地元農産物直売コーナーでの農産物の販売管理については、新たに生産者を組織化することとしており、農産物を提供する生産者も売れ行き状況が分かり、常に新鮮な農産物を提供することができるようになる。

また、システムの導入により、人件費の削減にも繋がる。

2 事業概要

(1) 内 容

このシステムは、レジを通すことで業者ごと商品ごとの売上状況を集計することができる。

農産物については、生産者ごと農産物ごとの売上状況を集計することができることに加え、生産者が携帯電話により自分が出品した農産物の売上状況をリアルタイムで確認することもできるシステムである。

(2) 事業期間

平成21年8月から10月まで

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

平成21年8月 入札

平成21年10月 導入完了・供用開始

(5) 全体事業費

4,000千円

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

よく売れるもの、まったく売れないものなど、商品の売れ筋を分析することができて、ロスを少なくすることができる。

農産物の直売については、安定的に農産物を供給する必要があり、生産者の組織化の取組みを展開している。

No.26	事業名 農地有効利用支援整備	補正 予算額	42,742 千円
-------	----------------	-----------	-----------

1 事業目的、趣旨等

担い手への農地集積が発展するにつれ、農業用排水施設の操作等に要する労力の軽減が必要となる。このことから、部分的な用排水施設の整備、営農体系の変更にむけ簡易な基盤整備等に支援するものである。

なお、農業水利施設の老朽化により営農を継続することが困難と見込まれる場合、耕作放棄地の発生を未然に防止する観点から当該施設の更新整備や補修について、平成21年度の経済対策によるものにより実施できるもので、本市においても当該事業を活用し整備を行う。

2 事業概要

(1) 内容

- ・農業用排水施設の補修、改修
- ・暗渠排水の改修
- ・農道の補修、改修
- ・取水施設の補修、改修

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

豊岡市：土地改良区管理施設を除く施設
土地改良区：土地改良区の管理施設

(4) 今後のスケジュール

平成21年7月中旬～10月30日 実施申請（補完整備計画）
平成21年9月～12月 交付決定
平成21年10月～ 事業実施（工事着工）

(5) 全体事業費

豊岡市 36,740千円
(財源：国50・55%、市(交付金)25・20%、受益者(地元)25%)

土地改良区 26,540千円(市補助金6,002千円)
(財源：国50・55%、市(交付金)25・20%、受益者(土地改良区)25%)

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

- ・既存施設（用排水路、ゲート）の整備工事 1箇所200万未満
- ・暗渠排水の整備工事 1箇所1,000万未満
- ・補助率：国50%（6法指定地域等55%）と地域活性化・経済危機対策臨時交付金を充当し、補助率75%（受益者負担25%）とする。